

# 学校だより 藤の木

蟻の道

雲の峰より

つづきけん

小林 一茶

発行者 横浜市南区大岡4 44-1 電話 045(714)2817 藤の木中学校 下山 和美



## 「暑い夏休みが終わる」

どういう気象状況が空でおこっているか分かりませんが、今夏のこの暑さは一体何事かと思われるような日々が続きました。昨年を振り返れば去年も確か暑かったという記憶があるのですが、喉元過ぎれば何とやら、現状の厳しさだけが辛さとなって愚痴が口をつきます。

また、今年は暑さのみならず豪雨が多くの人々の命を奪うというような災害が発生しました。この原因についても色々取沙汰されていますが、私たち人間にとって厳しい時間でもあったように思います。

話は若干変わりますが、上大岡から学校へ来る途中に苔むした石垣と大きな家の板塀に縁取られた細い道があります。そしてその石垣の裾に土砂が崩れ沢山のゴミが散乱している小さな空き地がありました。ある時そこを通ると、その空き地のゴミを撤去し土に鍬を入れている老夫婦(?)の姿がありました。何をするのかと行き帰りに気にとめておりましたら、いつのまにかそこは花壇に生まれ変わりあのくぐもった空間が一変して赤や黄色の花が植えられ見違えるほどの世界がそこに出現していたのです。そしてそこには大きいとはいえない立て看板が申し訳なさそうに立っていました。近寄って見ると「サンパ チェイス」という花の名と「環境汚染を浄化する効果がある」と見出しで詳細な説明が書かれておりました。

このような温かい心で一木一草にも配慮しながら植えて下さっていることに頭がさがるとともに、ゴミのたまり場であった空き地を見事に花畑に換え、静かに物を言う姿に感銘をうけました。

そしてある時、その石垣の苔がむしり取られ黒い岩肌が出ているのを見つけ通り過ぎたところ、たまたま花壇作りを終えた老夫婦もそれを見つけたのでしょうか。「何というむごいことを」といって顔を見合わせていた姿は忘れられません。



## 「努力は報われる」

この夏はオリンピック、高校野球というようにスポーツ漬けの夏休みでもありました。様々な協議が行われその勝敗や戦いぶりに一喜一憂したのではないのでしょうか。女子柔道の谷選手の指導で負けた試合に憤り鈴木選手の一本負けに落胆し、というように話題は引きも切りません。そんな中で女子ソフトボールの上野選手の一言は忘れられません。「心の強いものが勝利する」「努力は報われる」等々閉塞感というか不透明な時代にあって、子供たちに大きな夢を与える試合であり一語であると思います。ソフトボールばかりではなく水泳やレスリング・・・参加した全ての競技者に「夢を有難う」という気持ちでいっぱいです。その選手の頑張りは女子レスリングの伊調千春選手の一言に尽きるように思います。「金色以上に輝いて見える銀メダル!!」

前期後半が始まります。学校生活もまた夢を追いかけ自分を磨くところでもあります。1日1日を大切に、また目標をもって学校生活を送ってほしいと思います。



## お知らせ

9月9日(火)6校時に校内授業研究会が予定されております。是非保護者の皆様参観いただき、ご意見をたまわれと思います。